

日本放射線技術学会 中部部会
第41回 MR研究会（北陸ブロック）のご案内

MR研究会北陸ブロック代表世話人
富山大学附属病院 森 光一

ルーチンMRI検査では、どのような画像が求められているのか？また、求められる画像を得るために、我々技師がどのように装置の性能を最大限に引き出し、どのようなことを心掛け、注意を払うべきか？これらを主旨とした「はじめてのMRI」シリーズ第三弾として「Gd-EOB-DTPAのDynamic撮像技術」が今回のテーマです。

臨床講演ではEOBの画像を中心とした肝疾患の画像診断に関するご講演を賜る予定です。技術講演では撮像シーケンスの基礎的内容を解説していただきます。また、各サイトから、造影タイミング決定法（時間固定法、Bolus tracking法、Test injection法）の違いによる、それぞれの特徴を解説していただきます。

皆様多数のご参加をお待ちしております。

テーマ「はじめてのMRI ～Gd-EOB-DTPAにおけるDynamic撮像技術～」

日時：平成22年3月27日(土) 14:00～17:30

場所：富山大学附属病院2階 臨床講義室II

参加費：500円（会員、非会員共通）

内容：

1. 情報提供(14:10～14:25)

「肝疾患におけるEOBの役割」

バイエル薬品株式会社学術担当

2. 臨床講演(14:30～15:30)

「肝疾患における画像診断の役割」

金沢大学附属病院 小林 聡先生

3. 技術講演1(15:35～16:20)

「3Dシーケンスの基礎から応用」

(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン 廣瀬加世子先生

4. 技術講演2(16:20～17:20)

4-1: 「Bolus tracking法」における注意点及び工夫

市立砺波総合病院 瀬川総一さん

4-2: 「Test Injection法」における注意点及び工夫

金沢大学附属病院 横井知洋さん

4-3: 「時間固定法」における注意点及び工夫

金沢医科大学附属病院 近越紗詠子さん

お問い合わせ先：富山大学附属病院放射線部 伊藤貞則まで

TEL 076-434-7814 E-mail: sito@med.u-toyama.ac.jp